

宮城県感染症発生動向調査情報(第12週)

宮城県【平成26年03月28日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.3.17 ~ 3.23 ・ 第12週 —

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							仙台市				宮城県(含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第9週	第10週	第11週	第12週	
水痘	3 0.60	10 1.00	4 0.80	1 0.50	3 1.00	2 0.40		11 0.42	34 0.59	648	○→	○→	○→	レ	
流行性耳下腺炎		2 0.20						9 0.35	11 0.19	138	→	→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	34 6.80	36 3.60	10 2.00	24 12.00	23 7.67	19 3.80	10 5.00	146 5.62	302 5.21	6,628	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病											→	→	→		
伝染性紅斑	1 0.20	12 1.20	6 1.20	1 0.50	1 0.33	1 0.20		10 0.38	32 0.55	425	○→	○→	○→	○	
突発性発しん	3 0.60	3 0.30	3 0.60	1 0.50	3 1.00	4 0.80		10 0.38	27 0.47	353	○→	○→	○→	○	
ヘルパンギーナ											→	→	→		
インフルエンザ	394 49.25	342 22.80	360 45.00	34 11.33	190 38.00	322 40.25	77 19.25	1017 24.21	2736 29.42	23,757	◎→	◎→	◎→	◎	
咽頭結膜熱								5 0.19	5 0.09	95	→	→	→		
流行性角結膜炎						1 1.00			1 0.08	17	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20 4.00	20 2.00	24 4.80	6 3.00	1 0.33	16 3.20	2 1.00	51 1.96	140 2.41	1,793	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎			1 1.00		1 1.00		5 5.00		7 0.58	95	→	→	→		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症			1 0.20			1 0.20		9 0.35	11 0.19	218	→	→	→		
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)										◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向				
	川崎病										【 週報の詳報 】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/				
	不明発疹症														
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※									18					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
- 2類感染症: 結核
 - 大崎管内 女性2名
 - 仙台管内 男性1名、女性2名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
 - 仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 19例
県内の報告数は横ばいであり、成人を含めた重症例もみられるため注意を要する。

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【インフルエンザ】

仙南、塩釜、大崎、石巻、登米、仙台管内で警報継続中。
栗原、気仙沼管内で注意報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より
塩釜管内 第11週採取分 インフルエンザウイルスAH3 遺伝子 2件
インフルエンザウイルスB 遺伝子 1件
第12週採取分 インフルエンザウイルスB 遺伝子 2件
栗原管内 第12週採取分 インフルエンザウイルスB 遺伝子 1件
感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第10週採取分 ノロウイルスG II 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第10週採取分 (3.3～3.9)	第11週採取分 (3.10～3.16)	第12週採取分 (3.17～3.23)
インフルエンザウイルスAH1pdm	4件	4件	0件
インフルエンザウイルスAH3	6件	1件	0件
インフルエンザウイルスB	4件	2件	0件
インフルエンザウイルス(解析中)	1件	2件	1件
RSウイルス	1件	0件	0件
エンテロウイルス	0件	1件	0件

【インフルエンザ】

県内の患者数は、第11週をピークとして今週は気仙沼管内を除き減少となりましたが、連続して警報継続中ですので、今後の傾向を見ながら注意が必要です。さらなる日常的な予防心がけてください。

【感染性胃腸炎】

県内の患者数はほぼ例年並に減少傾向にありますが、管内別ではまだ横ばいの管内もみられることから引き続き注意が必要です。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群 (%)	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2014年 第5週		20.1	36.3	16.9	2.7	5.1	7.5	4.6	3.1	2.6	0.6	0.5	1,567
第6週		21.5	36.5	17.2	2.0	4.8	6.2	4.9	3.1	2.3	1.1	0.5	2,076
第7週		17.4	39.7	19.8	2.5	3.5	6.4	4.9	3.4	1.4	0.7	0.3	2,305
第8週		18.2	39.2	22.3	2.5	2.5	6.3	4.4	1.9	1.7	0.5	0.4	2,554
第9週		19.8	38.7	22.4	2.0	2.5	5.1	3.3	3.1	1.8	0.8	0.4	3,271
第10週		18.3	40.8	21.7	1.9	2.8	5.7	3.9	2.6	1.3	0.5	0.5	3,626
第11週		18.4	43.4	20.1	2.5	2.0	4.2	4.0	2.2	2.1	0.7	0.4	3,704
第12週		21.6	42.0	19.4	1.9	1.8	4.4	3.7	2.7	0.9	0.7	0.8	2,736

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第10週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮城県(38.99)、福井県(38.94)、岩手県(37.86)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は615例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(36例)、1～9歳(220例)、10代(45例)、20代(7例)、30代(17例)、40代(19例)、50代(26例)、60代(54例)、70代(91例)、80歳以上(100例)であった。**RSウイルス感染症:** 報告数は874例と第5週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(7.07)、新潟県(5.44)、富山県(4.83)である。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(15.97)、宮崎県(14.53)、山形県(14.20)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は富山県(1.60)、青森県(1.17)、福島県(1.14)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(5.00)、山形県(4.83)、富山県(4.83)であった。年齢別では0歳(1.00)、1～4歳(1.00)、5～9歳(1.00)、10代(1.00)、20代(1.00)、30代(1.00)、40代(1.00)、50代(1.00)、60代(1.00)、70代(1.00)であった。
※ 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。

インフルエンザ定点
インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。